

災害に関する知りたい情報を、いち早く入手する方法を紹介

特集

減災 GENSAI

2 日常の情報は、ラジオとマストから

● 日常は行政情報や防災情報を提供

防災行政無線

2012年から市内に355基の屋外広報マスト（スピーカー）を整備。緊急情報や行政情報を市内全域や地域ごとに放送している。放送された内容は電話応答装置（テレガイド）で再確認できる。

【テレガイド確認中の操作方法】

- 「#」「0」…最新の録音を聞く
- 「#」「1」…ひとつ後の録音を聞く
- 「#」「2」…今聞いている録音を最初から聞く
- 「#」「3」…ひとつ前の録音を聞く



テレガイド ☎ 25-5008

FMあすも専用ラジオ

「FMあすも専用ラジオ」は、市が2012年から市内に住所を持つ全ての世帯と事業所に貸与している。日常は、一関コミュニティFM(株)が運営するラジオ番組「あすも」から身近な地域情報や行政情報を発信。災害時は、割り込み放送や臨時番組から関連情報を伝える。

避難勧告など、人命にかかわる緊急の情報は、ラジオが自動で起動して情報を発信する。



FM あすも 79.5MHz

● 火災などの災害情報を取得しよう

テレドーム

市内で発生した火災・救助などの情報（消防出場情報）が電話で確認できるサービス。場所、災害の種別など、内容は、消防防災メールと同じ。

☎ 0180-991199

消防防災メール

市内で発生した火災・救助などの情報（消防出場情報）をメールで配信。一関市消防本部ホームページで登録する。災害の種別、地域、発生時間を自動配信している。



緊急災害情報

市ホームページを通じて、各種警報、避難所、河川の増水、通行止め、休校、公共交通機関の情報などをリアルタイムに発信。SNSやYahoo!災害ブログでも確認できる。



防災行政無線について聞く

阿部 幸男 さん

一関市消防本部
消防課長

市民の安全を守る情報をいち早く届ける

防災行政無線は、屋外の人いち早くサイレンや災害情報を放送します。災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。情報の収集と把握が大切。FMあすもと連携し、市民の安全を守ります。



FMあすもについて聞く

日下 真一 さん、貞子 さん

FMあすも
リスナー

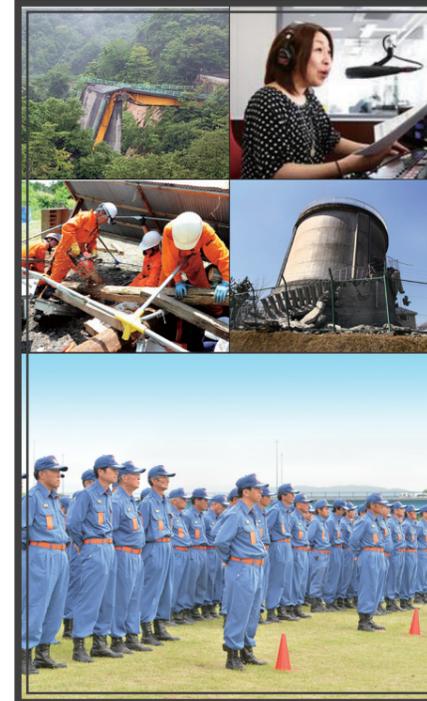
地域の出来事がわかる便利さが魅力

FMあすもは、身近な情報源。なじみの地名や方言が聞こえてくると安心します。情報は読むより聞くほうがわかりやすい。通行止めや火災の情報など、毎日の生活に役立っています。



特集

減災 GENSAI



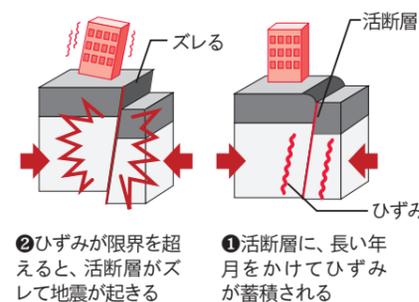
情報は防災と減災に役立つ。上手に集めて、普段の生活に役立てよう

特集

減災 GENSAI

1 最大の備えは、防災意識と情報収集

● 直下型地震の仕組み



4月に発生した熊本地震は、甚大な被害をもたらした。この地震は直下型地震に分類される。直下型地震とは、地下の深くにある固い岩の層（活断層）がズレたときに発生する。突き上げられるような縦揺れの地震が特徴。1995年の阪神・淡路大震災、2004年の新潟県中越地震、08年に本市で発生した岩手・宮城内陸地震も、直下型地震だ。国内には、まだ確認されていない活断層が数多く存在しているという。いつ、どこで、直下型地震が起こるのか、現在の地震予測技術では知る事ができない。

大災害の傾向と対策

また、本市は、北上川とその支流の氾濫によって、何度も水害に見舞われてきた地域でもある。大雨による浸水や土砂災害など、自然災害の発生をゼロにすることはできない。しかし、いざというときに備えることで、被害を最小限にとどめることができる。これが「減災」という考え方だ。減災の要になるのが情報。大きな災害では、一刻を争う非常事態が起きている場合もある。情報が生死を分けるといっても過言ではない。市では、日常と非常時を分け、さまざまな媒体を使って情報提供している。日常は、防災行政無線、FMあすも、広報紙やホームページで行政情報や防災情報を発信している。日頃から、情報の入手方法を確認しておこう。また、身の回りの出来事に興味を持つ意識も重要だ。非常時は、自分の目で異常や変化を確認して、判断を迫られる。水路は詰まっていないか、雨はどこに流れていくのか、交通の妨げになるものはないか、などの知識は、いざというときの助けになるだろう。